

令和6年度 第1回 豊岡小学校運営協議会 議事録

- 1 日時 令和6年5月9日(木) 13:30~16:00
- 2 場所 豊岡小フロンティアルーム
- 3 出席委員 中川秀三 疋田和俊 鈴木登志郎 松下宗央 木下清史
山田秀直 野末のぞみ 大津和也
- 4 欠席委員 山田万祐子 細川健太郎
- 5 学校 泉澤伸広(校長) 大村幸代(教頭) 中野朋慶(主幹) 松野聖子
- 6 教育委員会 牧野知子(教育総務課)
- 7 傍聴者 なし
- 8 議事録作成者 CSディレクター 松野聖子
- 9 議長の選出 司会の教頭から大津委員に議長を務める旨の発言があり、全員異議なくこれを承認し
- 10 協議事項 ① 学校運営の基本方針について
② 夢育やらまいか事業に対する意見書について
③ コミュニティ・スクールの活動について
- 11 会議記録

司会の大村教頭から委員数10人のうち8人の出席があり過半数に達しているため会議が成立している旨の報告があった。

1 学校運営の基本方針について

校長より学校運営の基本方針について説明があった。教育目標である「やさしい子」誰もが努力の報われないことや失敗することがある。そんな時、友だちの失敗を共感的な態度で受け入れ自分のできることを考え行動できる子。「チャレンジする子」子供たちは、多様な可能性を持っている。自分の良さに気付き、志を持って自分の良さをさらに伸ばそうと自ら切り拓いていこうとする子。この2つの教育目標には先生方が良い授業をする事が大事。先生方の長所を伸ばして力をつけていきたい。同時にICT活用の力もつけていきたい。いじめに関しては対応を早くていねいに行い子供によりそって一緒に考え、その子に応じた柔軟な対応をしていく。担任を一人にせず学年で見守り誰でも対応できる様心がけていきたい。

委員から以下の発言があった。

- ・内容から評価できる。校長が言っていた事がどうなったか運営協議会で評価できる様にしたい。基本方針については後押しをし広めていきたい。(大津委員)
- ・1年生から6年生で発達段階がちがう。学年に応じて決めるのはどうか。一番大切な物を据えた方が良い。(中川委員)
- ・グランドデザインの手立てがない。重点の目標の手立てが必要。教育目標は変わっていいと思う。(疋田委員)
- ・子供同士、親同士の関わりも希薄。コロナが影響しているのでは。(山田秀直委員)

- ・親の付き合いはどう回復するのか。新しい事を自治会でもやりたい。（大津委員）
 - ・校長先生が代わって新しい目を見た時「ここを一番にやりたい」というところは。（木下委員）
 - ・考えはあるが先生方と相談して進めていきたい。（校長）
- 熟議の結果、全員異議なくこれを承認した。

2 夢育やらまいか事業に対する意見書について

- ・議長の指示により教頭から夢育やらまいか事業に対する意見書の説明があった。全員異議なくこれを承認した。

3 コミュニティ・スクールの活動について

- ・議長の指示により支援コーディネーターから説明があった。今後の方針を決めるために教職員にアンケートを配付しその結果を踏まえて決めていきたい。

（連絡事項）教頭から次回会議は令和6年9月6日（金）に開催する旨の報告があった。